

令和3年度 事業報告

1 総括

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の延期や縮小などがあったものの、感染防止策を講じたうえで各種事業を展開した。その上で、当協議会のプラットフォーム機能の発揮による千葉県経済の活性化を念頭に、会員提案による事業の創出と自走化、会員間の連携・協働などを促進した。

具体的な事業としてはアフターコロナを見据えた効果的な取組を目指し、成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業（「航空／空港関連企業との商談会」等）や、県・市町村が行う地方創生関連事業と連携した事業（「日本遺産等を活用した誘客促進」、「地方創生と連動したDMO養成塾の報告会」等）を中心に取り組んだ。

また、新規事業として、将来的な航空人材の育成・確保を目指し、「体験型航空教室等実施支援事業」の取組や、成田空港の国内線LCCを利用した来訪促進や旅行商品の造成等を図るため、「千葉県観光商談会（北海道）」を実施した。

2 事業の概要

【1】ビジネス支援事業

○ アクティビティ（体験型）商品開発

【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

訪日外国人向けのアクティビティ（体験型）の公募とモニターツアーの実施により、将来的には、県内へのインバウンド誘客に繋がる有償ツアーの商品化を目指すもの。

本年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、ツアーの内容や実施回数等は当初予定から規模を縮小したが、感染防止策を講じたうえでモニターツアーを実施し、ツアー結果を踏まえた商品の磨き上げ等を行った。

(1) いすみ市（ツーリズムいすみ）

実施日：令和3年12月3日（金）

行程：サイクリングツアー（飯縄寺、津々ヶ浦、太東漁港、椎木堰周辺）

ツアー参加モニター：3名

(2) 横芝光町（一般社団法人横芝光町観光まちづくり協会）

実施日：令和4年1月21日（金）

行程：味噌作り体験（情報交流館ヨリドコロ）、

歴史探訪ハイキングツアー（貝塚・三十三観音巡り）

ツアー参加モニター：4名

- 本事業は、活用協第2期からの5ヶ年事業として実施しており、令和4年度が最終年度となるが、依然としてインバウンドの需要回復は期待できないと見込まれることから、当初計画していた一部有償でのモニターツアー実施や商品化に向けたツアーの磨き上げを行うのではなく、これまで本事業で実施したモニターツアー等の取組を会員へ共有する場を設け、ノウハウの提供や課題の共有を行うことしたい。

○ 航空／空港関連企業との商談会

【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

航空／空港関連企業と（会員企業を含む）県内食品事業者とのビジネスマッチングを行うことで、成田空港を起点とした新しいビジネス（取引）の実現を図り、県経済の活性化につなげるもの。

4回目の開催となる本年度は、食品の卸売・小売・機内食等を展開するバイヤーと県内食品事業者との個別商談及び展示商談を実施し、県経済の活性化及び航空／空港関連事業者との取引機運醸成を図った。

成約の後押し及び商談スキル向上のため、前回に続いて専門家による事前研修や個別アドバイスを行うなど、商談に不慣れな参加者にも安心して参加いただけるようきめ細やかな支援を行った。

日 時：令和4年1月18日（火）

場 所：ANAクラウンプラザホテル成田（成田市）

参加者：バイヤー 16社（18部門）

サプライヤー 53社（県内に事業所・生産拠点をもつ企業等）

開催方式：事前マッチング型の個別商談及び展示商談

対象品目：「千葉ならではの」という特徴をPRできる商品

- 前回に続いて専門家による参加者への支援を丁寧に行った結果、商談会当日の成約率が前回は上回った。また、当日での商談成立には至らずとも、バイヤー・サプライヤー双方から「継続的な商談をしていきたい」という声が多く聞かれ、通常であればなかなか接点を持つことができないうえに、コロナ禍で取引が停滞しがちな状況下においても新たな商機獲得に貢献することができた。
- 次回以降もコロナ禍での開催となるのであれば、個別商談や展示商談などの開催形式については引き続き検討していく必要がある。

○ ランドオペレーターとの商談会

【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

当協議会と千葉インバウンド促進協議会の共催のもと、会員企業、団体及び自治体にランドオペレーターを活用していただくことで、千葉県を訪れる訪日外国人旅行客の増加に向けた魅力的な旅行商品の造成に繋げるもの。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりランドオペレーターの事業が再開していないことから、昨年度に引き続き実施を見合わせた。

- ランドオペレーターの状況等を踏まえ、令和4年度の実施を検討する。

○ 千葉県観光商談会（北海道）

【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

成田空港・LCCを利用した来訪促進や旅行商品の造成等を図るとともに、新型コロナウイルス感染症により冷え込んだ観光業の回復を目指すため、成田空港から新千歳空港に就航するLCC3社の参加・協力を得て、北海道の旅行会社をバイヤー、千葉県内の観光事業者等をセラーとする観光商談会を開催した。

日 時：令和3年11月17日（水）

場 所：ロイトン札幌（北海道札幌市）

参加者：バイヤー14社（23部門）、セラー23団体

内 容：〈第1部〉講演（千葉県観光誘致促進課・成田国際空港株）

個別商談（固定5回・フリー3回）

〈第2部〉プレゼンテーション

- 173件の個別商談を実施し、継続したアプローチを行うことが可能となった。
- 参加者からは成田空港・LCCを利用した商品造成に対し、多くの期待の声が寄せられた。
- 今後については、会員団体による事業の自走化を図っていく。

○ 日本遺産等を活用した誘客促進

【県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業】

日本遺産等の地域資源を活用し、千葉県内の交流人口拡大と将来的な訪日外国人旅行客の増加に向けたツアー造成を企図するものである。

江戸の歴史を感じながら、町並みや絶景、食を体験する『日本遺産・北総四都市江戸紀行』として、本年度は銚子市においてモニターツアーを実施した。

日 時：① 令和4年2月14日（火） ② 令和4年2月15日（水）

テーマ：日本遺産・北総四都市“江戸紀行”銚子編

年に2日のみ公開 圓福寺「釈迦涅槃図」を拝観

行 程：東京都内⇒銚子駅⇒圓福寺・飯沼観音⇒磯角商店主屋⇒鮎蔵（昼食）

⇒石上酒造⇒観音駅～犬吠駅（銚子電鉄乗車）⇒犬吠埼

⇒地球の丸く見える丘展望館⇒屏風ヶ浦⇒銚子駅⇒東京都内

参加者：2日間計 29名（うち外国人モニター3名）

➤ 今後は、会員事業者による事業の自走化を図っていく。

○ 地方創生と連動したDMO養成塾

【県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業】

地方創生に有効な取組として、DMOを核とした持続可能な地域経営ノウハウを確立する講座（全7回）を令和元年度～2年度にかけて実施した。

本年度は、統括講師 山田 桂一郎氏の監修により、全7回の講座内容をまとめた報告書を作成し、養成塾受講者や活用協会員へ提供した。また、報告書を基にDMO養成塾の活動内容を振り返り、活動成果を今後はどう生かしていくかといった点について意見交換し、共有する場として報告会を開催した。

【DMO養成塾 報告会】

日 時：令和4年3月3日（木）

場 所：ハミルトンホテル上総（君津市）

出席者：18団体23名

内 容：

- ① 2022年の夢 超長期を展望した新たなスタート

成田空港活用協議会参与

(株)ちばぎん総合研究所 取締役会長 水野 創 氏

- ② 地域の観光づくり～暮らしの足・観光の足を担う自家用有償旅客運送～

(株)Glocal Innovation Holdings 代表取締役社長

ツーリズムいすみ CMO 山内 絢人 氏

- ③ DMO養成塾の活動成果の振り返りと今後の展開に向けた意見交換

進行 成田空港活用協議会経済活性化部会長

(株)ちばぎん総合研究所 調査部 担当部長 小松 孝之 氏

- DMOや観光振興に係る次年度以降の取組については、報告会で得られた意見を参考に検討・実施していく。

○ 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客

【県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業】

成田空港を経由する訪日外国人や県外観光客の県内への誘客を促進するため、国立歴史民俗博物館が所蔵する「江戸図屏風」をもとに令和元年度に製作した「光る江戸図」を、4言語（日本語・英語・中国語・韓国語）対応の解説用ICT機器と併せて成田空港内で展示を行うもの。

昨年度に引き続き、設置場所が新型コロナウイルス感染症の影響で閉鎖されていることから、公開できない状態が続いている。

【実施状況】

期 間：令和2年3月12日（木）～令和5年3月31日（金）

設置場所：成田国際空港第2旅客ターミナルビル 出国手続き後エリア
（「NARITA SKY LOUNGE 和」内）

- 展示の再開を目指し設置期間を延長し、引き続き展示品を活用した県内交流人口の拡大を目指す。

○ 千葉県ホストタウン紹介映像放映事業

【東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする時機を捉えた事業】

令和元年度に製作した『ホストタウン紹介映像』を活用し、東京オリンピック・パラリンピック2020大会の開催に向けた機運の醸成を図った。

（1）県内5市における映像の放映

事業内容：希望する自治体へ映像を配布し、公共施設等で放映した。

放映場所：5市（松戸市、木更津市、君津市、いすみ市及び山武市）の庁舎等

（2）イオンモール幕張新都心における映像の放映

事業内容：東京2020大会直前イベントにおいて映像を放映した。

事業概要：イオンモール幕張新都心4館 計37箇所のモニターで放映。

放映期間：令和3年7月19日（月）～7月23日（金）

- 紹介映像を県内5市で放映したことで、ホストタウンについて市民等に広く周知することができ、大会のPRにつながった。特にイオンモール幕張新都心では、オリンピック開会式の7月23日を含む日程で放映を行った。

- 今後は、県や千葉市ほかホストタウン自治体等が行う東京2020大会レガシーのイベントなどと連携し事業の実施を検討する。

○ 空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組

【県内大学等の教育機関等と連携した人材育成や知見の活用を目指す事業】

航空／空港関連企業の従業員数は、成田空港の更なる機能強化により、事業規模の拡大が必要になると見込まれているが、グランドハンドリングなど一部の業種・職種では現在でも人手不足が課題となっている。

そこで将来的な航空／空港関連企業の採用確保や航空人材の育成を図るため、航空／空港関連企業と高等学校・専門学校との懇談会及び高等学校における航空／空港関連業種に関する出張授業を行った。

(1) 航空／空港関連企業と高等学校・専門学校との懇談会

日 時：令和3年11月24日（木）

場 所：成田ビューホテル

参加団体等：15名（高等学校2校、専門学校1校、企業3社、関係団体）

(2) 高等学校における航空／空港関連業種についての出張授業

日 時：令和4年3月16日（水）

場 所：千葉県立松尾高等学校

講 師：成田航空ビジネス専門学校 広報部長 石井 美帆 氏

参加者：生徒 25名

- 航空／空港関連企業と高等学校・専門学校との懇談会は、新型コロナウイルス感染症の影響や成田空港の更なる機能強化を見据えて、就職や採用の現状や今後について有意義な情報交換の場となった。
- 当協議会としては初めてとなる「航空／空港関連業種についての出張授業」を高等学校において実施することで、成田空港で様々な仕事があることを生徒に紹介することができた。
- 引き続き、教育機関と連携し、出張授業などの実施を検討する。

○ 将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業

(県内高校生を対象とした体験型航空教室)

【県内大学等の教育機関等と連携した人材育成や知見の活用を目指す事業】

航空／空港に関連する様々な仕事・職を知ってもらい、航空／空港業界の人材育成・確保を図るため、県内高校生及び進路指導教諭を対象に、施設見学や現場職員を交えた座談会などの航空現場の魅力ややりがいを紹介する「体験型航空教室」を実施した。

(1) 日本航空㈱（JAL）協力イベント

実施日：令和4年2月27日（日）

開催場所：成田国際空港第2旅客ターミナルビル及び空港内制限エリア

参加者等：34校119名（生徒111名、先生8名）

内 容：

- ① チェックイン業務体験・アナウンス体験
- ② 周遊フライト
- ③ ランプ内周遊バスツアー（グランドハンドリングの現場見学）
- ④ 現役スタッフとの座談会

(2) 全日本空輸㈱（ANA）協力イベント

実施日：第1回 令和4年2月20日（日）※内容は各回とも同様

第2回 令和4年3月5日（土）

第3回 令和4年3月20日（日）

開催場所：成田国際空港第1旅客ターミナルビル及び空港内制限エリア

参加者等：合計 27校87名（生徒86名、先生1名）

内 容：

- ① ANA仕事紹介
- ② A380 FLYING HONU搭乗体験・機内見学
- ③ 特殊車両・航空機貨物室の見学
- ④ キャリア相談会（後日オンラインにて実施）

- アンケート結果によると、当イベント参加者の満足度は非常に高かった。現役スタッフから直接、仕事のやりがいなどについて話を聞く機会を得られたことが、航空／空港関連業種に興味や関心を高める結果となったと考えられる。
- 当事業は当初、単年度事業を想定していたが、成果や課題を踏まえて、次年度以降の事業の実施を検討する。

○ 第1回県内経済活性化ビジネスセミナー

(会員ニーズを踏まえたセミナー等の実施)

[過去5年間の成果を更に拡大していく事業]

成田空港の更なる機能強化による県内経済活性化への期待感を醸成すべく開催した。また、CHIBAビジコン2020成田空港活用協議会賞の副賞として、受賞企業に事業紹介の機会を提供した。

日 時：令和3年5月17日（月）

場 所：TKPガーデンシティ千葉

対象者：協議会会員 66団体 102名

メディア 6社 7名

内 容：

- ① CHIBAビジコン2020 成田空港活用協議会賞受賞企業の紹介
 (株)さつまいもの石田農園 専務取締役 石田 湧大 氏
- ② 成田空港の更なる機能強化について
 成田国際空港(株) 執行役員 機能強化整備部長 竹村 昌明 氏
- ③ 成田空港周辺地域における国家戦略特区の提案について
 千葉県 総合企画部 空港地域振興課長 錦織 良匡 氏

➤ 参加者からは「空港関連の動向が知ることができて良かった」「地域活性化・ビジネスチャンスに向けた事業展開の参考としたい」など、好意的な声が寄せられた。

○ 圏央道全線開通を見据えた企業誘致に向けた取組

[空港周辺・圏央道等への産業集積を促進する事業]

第2回県内経済活性化ビジネスセミナー

「圏央道全線開通による県内経済活性化への期待」の実施

圏央道千葉県区間の全線開通（令和6年度）、北千葉道路の全線開通（早期期待）等交通インフラ整備が着々と進展し、令和4年1月には、日本初の農林水産物のワンストップ輸出拠点となる新生成田市場（成田市公設地方卸売市場）が空港近くに開場するなど、圏央道沿線・空港周辺への産業集積に期待が高まっている。

そこで、「圏央道全線開通への期待」及び「新生成田市場の開場に伴う地域経済の活性化」に焦点をあてたセミナーや成田市場の現地視察等を実施した。

日 時：令和4年2月1日（火）

場 所：成田市公設地方卸売市場

参加者等：24団体 36名

内 容：

(1) セミナー

① 圏央道全線開通による県内経済活性化への期待

㈱ちばぎん総合研究所 取締役会長 水野 創 氏

② 新生成田市場の開場による地域経済活性化効果

成田市経済部卸売市場 主幹 河野 雅祐 氏

③ 新生成田市場に入所するメリットなどについて

NAX JAPAN㈱ 取締役常務執行役員 佐藤 啓仁 氏

(2) 視 察

① 成田市卸売市場職員御案内のもと市場内を見学

② バス車中から圏央道（工事現場）を見学

- 圏央道については、「全線開通がもたらす経済波及効果」や「残された課題」等について、本県における中長期的な展望を共有することができた。また、成田市場については、自治体、民間事業者それぞれの立場からの講演を通じて、市場が目指す方向性や輸出拠点として期待される役割などについて、より具体的なイメージを持つことができた。
- 各会員から改めて、「圏央道沿線・空港周辺への産業集積」への高い関心が示されたことから、引き続き、産業集積（企業誘致）への機運醸成につながる取組を検討・実施してまいりたい。

○ 夷隅・安房地域ミーティング及び第3回経済活性化ビジネスセミナー

【過去5年間の成果を更に拡大していく事業】

空港から離れた地域には当協議会の事業効果が見えにくい状況があり、そうした地域に位置する会員のニーズや課題を捉え、有用な事業展開を図るため、地域ミーティングを開催し意見交換を行った。

地域ミーティングで出た課題の中から、成田空港を活用した地域経済の活性化の視点を踏まえ、「観光DX」及び「おもてなし」をテーマとしたセミナーを開催するとともに、今後の課題解決に向けた方策について意見交換を行った。

(1) 地域ミーティングによる意見交換の実施

① 夷隅地域ミーティング

日 時：令和3年10月13日（水）

場 所：いすみ市役所（いすみ市）

主催・進行：事務局・(株)ちばぎん総合研究所

参加者等：6団体 12名

② 安房地域ミーティング

日 時：令和3年10月27日（水）

場 所：千葉県安房地域振興事務所（館山市）

主催・進行：事務局・(株)ちばぎん総合研究所

参加者等：8団体 10名

(2) 第3回経済活性化ビジネスセミナー

日 時：令和4年3月8日（火）

場 所：鴨川グランドホテル（鴨川市）

参加者等：会場参加者 26名、オンライン参加者 32名

内 容：

ア 講演

① 観光DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進について

観光庁観光地域振興部 観光資源課新コンテンツ開発推進室

室長 佐藤 司 氏

② オール千葉でおもてなし ―真の観光地づくりに向けて―

千葉県商工労働部 観光企画課オール千葉おもてなし推進班

班長 久保田 隆志 氏

イ 意見交換

コーディネーター：成田空港活用協議会 経済活性化部会長

(株)ちばぎん総合研究所調査部 担当部長 小松 孝之 氏

- 第3回経済活性化ビジネスセミナーの意見交換では、「広域的なプロモーションやPR」、「ターゲティングの重要性」、「広域的なデータベースマーケティングの必要性」、「成田空港から県南地域に観光客を運ぶ実証事業」などについて意見があった。
- 今後、今回出された意見を踏まえ、改めて具体的な方策などについて検討していく。

【2】空港利用促進事業

○ 空港利用回復事業

【過去5年間の成果を更に拡大していく事業】

新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度に引き続き航空需要が低迷しているなか、県内経済の回復のためには、いち早い成田空港の利用回復が望まれるところである。

本年度においては、利用回復の兆しが見られる国内線について、成田空港の充実した国内線ネットワークや利便性等を各種の施策、媒体を通じてPRすることにより、県内をはじめとした需要を喚起し、空港の利用回復の後押しを図るべく、プロモーション活動を行った。

(1) 成田空港の利用促進に向けたポスターの作成

成田空港の充実した国内線ネットワークをアピールするポスターを940枚作成、県内の郵便局や銀行、市町村ほか活用協の全会員へ配付し、県内全域で展開することで幅広く浸透を図った。

時 期：令和4年3月末から随時掲示

場 所：県内郵便局（688局）、会員金融機関（計186店）、
地域振興事務所等

(2) 交通機関へのラッピング広告の掲出

ポスターと同種の内容で、京成バス㈱のバス車両へのラッピング広告を掲出した。

時 期：令和4年3月26日（土）から1年間

場 所：京成バス千葉営業所管内の路線を走行

(3) 旅行系フリーペーパーへのタイアップ記事の掲載

旅行好きな若い女性をターゲットにしたフリーペーパー「たびいじょ」にタイアップ記事「成田からひとり旅へ！はじめてのLCC活用術」を掲載し、LCCへの理解や興味を深めてもらえるよう、成田空港に就航する国内線LCC各社の紹介や、LCC搭乗までの流れ、LCC就航地のおすすめスポット等を紹介した。

配布時期：令和4年3月末から半年間

配布場所：都内の大学や全国のゲストハウス、カフェ等ほか希望者へ無料配送

発行部数：10,000部+「たびいじょ」ホームページで電子書籍としても
公開

(4) イベント等での配布を目的としたエコバッグの作成

成田空港を想起させ日常的にも使いやすいデザインのエコバッグ(トートバッグ)を2,000枚作成した。今後の活用協が関係するイベント等で資料やチラシ等を配る際に用いることとし、受け取ってもらいやすい形で配布することで、PR効果を高めていく。

- 令和4年初頭からの新型コロナウイルス変異株の感染拡大により、年度末まで全国的にまん延防止等重点措置の期間が続いたことを受けて、当初計画から延期や具体化しなかった活動も一部あった中で、出来得る活動を行った。
- 次年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、より適時適切に展開できるように計画し、成田空港の利用回復を後押しする事業を展開してまいりたい。

【3】基本的な取組

○ 要望活動

・首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

昨年度に引き続き、圏央道及び北千葉道路の整備推進に関する要望活動を、関係2団体とともに、国等関係先に対して行った。

実施日：令和3年11月25日(火)

要望先：財務大臣、財務副大臣、財務大臣政務官、財務事務次官、主計局長、国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官、国土交通事務次官、道路局長、財務省・国土交通省幹部職員及び県選出国會議員

同時に要望した関係団体：千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟
首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

○ 会員相互の情報共有

・会員向け情報発信の強化

協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースはもとより、各種メディア媒体の利用や報道機関へのアプローチを展開することにより、メディアへの露出を積極的に図った。

協議会の会員向けにメール等での情報発信を行い、会員間における活動状況や成果の共有を図った。また、会員に対する情報発信を強化するため、今年度から新たに、当協議会の活動状況等をまとめたニュースレターを各会員に送付した。

会員によるプロモーションと連携・連動し、協議会及び協議会会員のPRを行った。

○ 会員提案の募集・具体化

・ 会員提案の募集

令和4年度事業に係る本県の経済活性化につながる取組として、他の会員との連携・協働により取り組みたい事業の提案について募集した。（なお、会員からの事業提案は随時募集している。）

募集期間：令和3年11月22日（月）～令和3年12月17日（金）まで

提案状況：会員からの事業提案（8件）

・ 会員提案の検討・具体化

令和3年度事業として、以下の会員提案を事業化し実施した。

- ・ アクティビティ（体験型）商品開発
- ・ 航空／空港関連企業との商談会
- ・ 千葉県観光商談会（北海道）
- ・ 日本遺産等を活用した誘客促進
- ・ 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客
- ・ 競技開催地とホストタウンや周辺地域が連携した情報発信・観光誘客等の促進
- ・ 空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組
- ・ 県内高校生を対象とした体験型航空教室
- ・ 空港利用回復事業

(参考) 会議等の開催状況

(1) 総会

期 日：令和3年5月17日（月）

場 所：TKPガーデンシティ千葉 3階「シンフォニア」

議 題：

- (1) 令和2年度事業報告について
- (2) 令和2年度収支決算について
- (3) 令和3年度事業計画（案）について
- (4) 令和3年度収支予算（案）について

(2) 幹事会

【第1回】

期 日：令和3年4月22日（金）

場 所：ホテルポートプラザちば 2階「ルビー」

通 知：第1回幹事会の書面開催について（令和2年6月3日付け成活第10号）

議 題：

- (1) 令和3年度事業計画（素案）の修正について
- (2) 令和3年度総会議案について
 - ・議案第1号 令和2年度事業報告について
 - ・議案第2号 令和2年度収支決算について
 - ・議案第3号 令和3年度事業計画（案）について
 - ・議案第4号 令和3年度収支予算（案）について
- (3) 総会に向けた確認事項について
- (4) 報告案件
 - ①地方創生と連動したDMO養成塾について
 - ②空港利用回復事業について
- (5) 事業採択案件
 - ①第1回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催

【第2回】

期 日：令和3年5月26日（水）

場 所：オークラ千葉ホテル 3階「エリーゼ」

議 題：

- (1) 事業採択案件
 - ①「地方創生と連動したDMO養成塾」報告書作成及び報告会の開催

- ② アクティビティ（体験型）商品開発
- ③ 将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業
- ④ 会員向け情報発信の強化
- ⑤ 千葉県観光商談会（北海道）

【第3回（書面開催）】

通 知：第3回幹事会の書面開催について（令和3年6月16日付け成活第27号）

議 題：

- （1）事業採択案件
 - ① 千葉県観光商談会（北海道）

【第4回（書面開催）】

通 知：第4回幹事会の書面開催について（令和3年9月8日付け成活第41号）

議 題：

- （1）幹事長の選任について
- （2）事業採択案件について
 - ① 将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施事業（JALの提案）

【第5回（書面開催）】

通 知：第5回幹事会の書面開催について（令和3年9月16日付け成活第43号）

議 題：

- （1）事業採択案件について
 - ① 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客

【第6回】

期 日：令和3年10月7日（木）

場 所：千葉県経営者会館 4階会議室

議 題：

- （1）報告案件
 - ・ 航空／空港関連企業との商談会（アフターフォロー）
- （2）事業採択案件
 - ① 第2回県内経済活性化ビジネスセミナー
「圏央道全線開通による県内経済活性化への期待」
 - ② 航空／空港関連企業との商談会
 - ③ 空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組

(3) その他

- ・ 体験型航空教室の今後の進め方について (案)

【第7回 (書面開催)】

通 知: 第7回幹事会の書面開催について(令和3年11月22日付け成活第56号)

議 題:

(1) 事業採択案件について

- ①首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望
- ②空港利用回復事業

(2) 報告案件について

- ・ ランドオペレーターとの商談会
- ・ 会員提案の募集について

【第8回】

期 日: 令和3年12月14日 (火)

場 所: 千葉県経営者会館 地下1階会議室

議 題:

(1) 事業採択案件

- ① 将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室について

(2) その他案件

- ・ 空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組み
(高等学校における空港関連業種の出張授業について)

(3) その他

- ・ 体験型航空教室の今後の進め方について (案)

【第9回 (書面開催)】

通 知: 第9回幹事会の書面開催について(令和3年2月9日付け成活第75号)

議 題:

(1) 事業採択案件について

- ①第3回経済活性化ビジネスセミナーの開催について

【第10回】

期 日：令和4年3月28日（月）

場 所：TKPガーデンシティ千葉 3階「メヌエット」

議 題：

（1）協議事項について

- ① 令和4年度事業計画（素案）について
- ② 令和4年度総会次第（素案）について
- ③ 成田空港活用協議会の活動期間の延長について

（2）事業採択案件について

- ① 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客

（3）報告案件について

- ① 第2回県内経済活性化ビジネスセミナー
～圏央道全線開通による県内経済活性化への期待
- ② アクティビティ（体験型）商品開発
- ③ 航空／空港関連企業との商談会
- ④ 千葉県観光商談会（北海道）
- ⑤ 日本遺産等を活用した誘客促進
- ⑥ 地方創生と連動したDMO養成塾
- ⑦ 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客
- ⑧ 千葉県ホストタウン紹介映像放映事業
- ⑨ 空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組
- ⑩ 県内高校生を対象とした体験型航空教室
- ⑪ 第1回県内経済活性化ビジネスセミナー
- ⑫ 夷隅・安房地域ミーティング及び第3回経済活性化ビジネスセミナー
- ⑬ 空港利用回復事業
- ⑭ 会員向け情報発信の強化
- ⑮ 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望